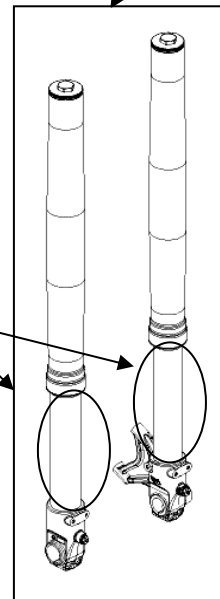


改善箇所説明図



インナーチューブ



フロントフォーク

基準不適合発生箇所

フロントフォークのインナーチューブにおいて、製造時の熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行時の振動によりインナーチューブに亀裂が生じ、インナーチューブが折損し走行不能になるおそれがある。

改善の内容： 全車両、フロントフォークの生産日を確認し、対象となる生産日のフロントフォークを良品と交換する。

識別： フロントフォークに刻印されている生産日で確認できるため、とくに識別はおこなわない。